

多系統萎縮症の病理検体を用いた研究についてのお知らせ

国立病院機構東名古屋病院では、病理解剖にご協力いただきました方の検体を用いた国際的な多施設共同研究を行っております。この研究は、当院倫理審査委員会において2019年5月17日に承認されました。本研究は「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」に沿って行う必要があります。研究内容の情報を公開することが必要とされているため、当院のホームページ上に掲載いたします。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名	剖検で確認された多系統萎縮症におけるゲノムワイド関連解析
研究機関	ミュンヘン工科大学（研究責任施設）および研究協力機関
研究参加国	米国, カナダ, イギリス, ドイツ, フランス, スイス, チェコ, オーストリア, スウェーデン, オーストラリア, 日本
研究責任者	Günter U. Höglinger (ミュンヘン工科大学)
研究の目的	多系統萎縮症における疾患感受性遺伝子を検索する
研究の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる方： 当院で病理解剖にご協力いただいた方で、多系統萎縮症と病理診断された方 ・利用させていただく臨床情報および試料： 年齢・性別・身体所見・神経学的所見・画像所見・病理学的所見・凍結脳組織 ・研究の方法： 凍結脳組織1cmをドイツに送付し、DNAを抽出し、正常対照者と比較します。
個人情報の取り扱い	お名前・住所など個人が特定できる情報は削除した上で解析を行います。研究成果は学会や学術雑誌で公表されますが、個人を特定できる情報は利用されません。当該研究に使われることを望まれない方の記録・資料は研究には用いませんので、下記連絡先担当者にご連絡いただければ幸いです。
問い合わせ先	〒465-8620 名古屋市名東区梅森坂5-101 国立病院機構東名古屋病院神経内科 電話 052-801-1151 担当医師 饗場郁子